6.1 産業車両等の脱炭素化促進事業のうち、空港における脱炭素化促進事業／空港におけるEV・FCV型車両導入支援

①EVトーイングトラクターの導入により環境負荷低減、作業負担改善を実現

中部スカイサポート株式会社（愛知県常滑市／運輸業、郵便業）

【HP】https://www.css-ngo.com

赤文字：該当箇所 ｜ 灰色文字：該当外

補助事業の紹介

補助事業名	産業車両等の脱炭素化促進事業のうち、空港における脱炭素化促進事業
補助事業の概要	① 空港における再エネ活用型GPU（地上動力装置）等導入支援 ② 空港におけるEV・FCV型車両導入支援
実施目的	空港内及び空港周辺の未利用地を有効活用した太陽光発電・蓄電池の導入等が進んでおり、そうした取組によって得られた再エネ電力を有効活用する設備や車両を導入することで、空港におけるカーボンニュートラル化を実現し、さらには地域の脱炭素化と防災性の向上にも貢献することが期待される。そのため、駐機中の航空機への電気・冷暖房の供給に伴い排出されるCO_2の大幅削減に資する再エネ活用型GPU等の導入を支援するとともに、EV・FCV型車両導入支援を行う。
交付対象	民間事業者・団体等 ｜ 地方公共団体
補助率	① 再エネ活用型GPU等導入支援：本体価格の1/2 ② EV・FCV導入支援：従来車両との差額の2/3

①EVトーイングトラクターの導入により環境負荷低減、作業負担改善を実現

事業の概要

補助金額	補助金額	約1,229万円
	補助率	標準的燃費水準車両との差額の2/3
導入設備	従前設備	ディーゼル式トーイングトラクター
	導入設備	電動トーイングトラクター
事業期間	稼働日	2025年3月
備考	導入台数	7台



電動トーイングトラクター3TE25

事業の効果

エネルギーコスト※

▲約211（万円／年）

CO_2削減効果

約35（t-CO_2／年）

投資回収年数

24（年）→ 18（年）

CO_2削減コスト

約10（万円／t-CO_2）

副次的効果

- **騒音、振動の大幅な低減により作業者の身体的・心理的負担が改善**
- **燃料供給が制限される非常時にも、空港内電源を活用し稼働できる体制の構築が可能**
- **社内全体の脱炭素化推進への波及効果**

※ エネルギーコストは、電力（高圧）単価：26.7円／kWh（出典：電力・ガス取引監視等委員会　電力取引の状況（電力取引報結果））、
軽油単価：156,969円／kL（エネ庁統計石油製品価格調査）を用い、ディーゼル式トーイングトラクターとの比較により試算。

事業者の声



チーフ　竹内 恵一｜中部スカイサポート株式会社 総務企画部　企画グループ

中部スカイサポート㈱は、中部国際空港において航空機のグランドハンドリング業務を担う企業として、開港当初よりEV式トーイングトラクターを導入するなど、環境負荷低減に継続して取り組んでまいりました。この度、更なる脱炭素化の推進および作業環境の改善を目的として、環境省の本事業を活用し、EV式トーイングトラクター7台を追加導入いたしました。本追加導入は、これまで進めてきたCN化の取組を一層拡充するものであり、CO_2排出量の更なる削減に加え、排気ガスの解消や騒音・振動の大幅な低減を通じて、地域環境への負担軽減および作業者の身体的・心理的負担の軽減につながっております。特に空港内における作業環境の質的向上は、安全性の確保や人材定着の観点からも大きな効果を実感しております。本取り組みは、気候変動対策や持続可能な社会の実現といったSDGsの理念にも通じる施策として位置付けており、今後も中部国際空港の「セントレア・ゼロカーボン2050宣言」の実現に寄与すべく、地上支援機材の更なるEV・FCV化および脱炭素化を段階的に推進し、環境に配慮した事業活動を継続してまいります。